

市内医療機関への緊急協力要請

医療機関 管理者 様

札幌市長 秋元 克広

一般社団法人 札幌市医師会 会長 今 真人

札幌市内の医療機関全体で新型コロナウイルス感染症への対応にあたるため、以下の事項について、協力を要請します。

1. 重点医療機関等の皆さまへ

- 現在、入院を要する患者の多くが高齢者であることから、高齢者（要介護者等）の入院に対応可能な病床（人員）のさらなる確保をお願いします。
- 土・日・祝日等における入院調整は極めて困難な状況となっていますので、土・日・祝日においても入院調整に対応可能な体制の整備をお願いします。

2. 救急当番医療機関（初期・二次）の皆さまへ

- 救急当番病院においては、発熱・咳等の症状の有無や患者の年齢等に関わらず、当番診療科の救急患者を断ることなく受入可能な体制の整備をお願いします。
- 救急患者の受入後、自院で行った新型コロナ検査等により、コロナ陽性が判明した場合、少なくとも翌朝までは、自院で対応可能な体制の整備をお願いします。

3. 入院病床を有する医療機関の皆さまへ

- 自院に入院している患者が新型コロナ陽性と判明した場合、保健所における即時の入院調整は極めて困難な状況となっていますので、自院において引き続き、入院可能な体制の整備をお願いします。

4. 外来診療を実施している医療機関の皆さまへ

- 発熱外来等の医療機関において、自院で検査した外来患者が新型コロナ陽性と判明した場合、保健所における即時の入院調整は極めて困難な状況となっていますので、電話診療・オンライン診療により、引き続き、健康観察や処方等をお願いします。
- 発熱外来等の混雑状況が深刻であるため、現在、発熱外来の登録を行っていない医療機関においては、コロナ抗原検査キットで陰性となった発熱患者等の診療についてご協力をお願いします。